

# ENTREPRENEURSHIP



## 高校生アントレプレナーシップゼミ

12月14日(日)  
10:00～12:10  
CO-DEJIMA

参加校：松浦高等学校・口加高等学校  
島原農業高等学校・長崎工業高等学校  
佐世保工業高等学校・大村工業高等学校  
佐世保商業高等学校・島原商業高等学校  
諫早商業高等学校・壱岐商業高等学校

主催：長崎県教育庁高校教育課

## 目次

1 「高校生アントレプレナーシップゼミ 2025 Winter」最終発表会プログラム .....	( 1 )
2 「高校生アントレプレナーシップゼミ」について .....	( 2 )
3 審査基準 .....	( 3 )
4 審査員のご紹介 .....	( 4 ) ~ ( 6 )

# 「高校生アントレプレナーシップゼミ 2025 Winter」プログラム

**1 受付開始 9:30～10:00**

**2 開会式 10:00～10:05**  
主催者挨拶：長崎県教育庁 教育長 前川 謙介

**3 プレゼンテーション 10:05～11:28**

- ① コンテスト概要・審査要項 説明
- ② プレゼンテーション

	時間	学校名（参加者）	チーム名（代表者）	内容
①	10:10～10:23	諫早商業(橋本那)・佐世保商業(上野)	ユメログ	「過去の夢を叶える」
②	10:23～10:36	島原商業(神崎)	MEGURELAB	Syu-ka
③	10:36～10:49	長崎工業(古井田)・大村工業(羽柴) 島原農業(榮)	COC	高校生が灯す中学生の可能性
④	10:49～11:02	口加(野田)・松浦(山口美) 佐世保商業(濱本)	ARS	カレンダーと店舗予約の自動リンクサービス
⑤	11:02～11:15	佐世保工業(吉村)・大村工業(林田) 壱岐商業(山口桜)	Civicorp	重機を活用した土木人材育成
⑥	11:15～11:28	島原農業(木村)・島原工業(中田)	アニメフードギルト	アニメ飯を提供し、食を通して作品世界を楽しめるサービス
⑦	11:28～11:41	諫早商業 (香川)・佐世保商業(橋本珠)	SOLARUNA	月と太陽のリズム合宿

**4 審査・休憩 11:41～11:55**

**5 表彰式 11:55～12:10**

- ① 表彰：グランプリ 準グランプリ 優秀賞
- ② 講評 株式会社サイノウ 代表取締役 村上純志
- ③ 閉会
- ④ 集合写真撮影

※審査員、観覧の方はご退室

# 「高校生アントレプレナーシップゼミ」

## 1 高校生アントレプレナーシップゼミとは？

長崎県内の県立高等学校から希望する高校生を募り、長崎県教育庁高校教育課や外部講師による集合研修などを大学のゼミ形式で実施しています。

参加者は一人一台パソコンを活用しながら、地域課題の解決や地域の魅力化等に取り組むことで、郷土愛にあふれた地方創生人財の育成や、地域課題解決や地域魅力化のための活動を高校生自ら計画し実行することで、起業家精神を持つ人財を育成することを目的としています。

## 2 教育プログラムについて

「高校生アントレプレナーシップゼミ 2025 Winter」に参加する16名の生徒を対象に教育プログラムを実施しました。10月6日から参加者ひとり一人と「1on1ミーティング」を実施のうえ、10月18日～12月13日までに計9回の教育プログラムを実施しました。

また、生徒はビジネスプラン構想にあたって、チームメイトなどとメタバース上で複数回のミーティングを実施しました。

## 3 本日の最終発表

生徒16名は、1～3名の7チームに別れ、本日7プランを発表します。

今後、7チームについては、今後、長崎県内で開催されるビジネスプランコンテストエントリーする予定です。

## 4 審査基準 ※次頁参照

以下の3項目①～③を5段階評価し採点を行います。

審査項目：①「新規性、革新性、優位性」②「実現可能性、市場性」③「表現力」

## 5 表彰について

本日はグランプリ1チーム、準グランプリ1チーム 優秀賞5チームを選出します

# 審査基準

高校生アントレプレナーシップ最終発表会において、ビジネスプランの選考にあたっては、以下の要領で行うものとする。

評点は、採点表に各審査委員がビジネスプランごとに採点記入する。評価項目は以下3項目とし、簡便化のため5段階評価をする（5点、4点、3点、2点、1点）。

## 1 評価項目

- (1)新規性・革新性・優位性：事業アイデア・コンセプト自体の新規性・革新性・優位性。
- (2)実現可能性・市場性：ビジネスプランの事業化への可能性、市場性。
- (3)表現力：書類、プレゼンでの表現力、説得力。事業化するにあたっての考え方。

## 2 評価基準

評点の目安としては、各項目3点を標準とし、非常に優れているものを5点、優れているものを4点、いま一歩を2点、最も低い評価を1点とする。いずれも採点表のとおり評価基準を設けるが、あくまでも目安で、各審査委員の経験及び他の案件との相対的な評価から出た判断で差し支えないものとする。

評価項目	採 点	評価基準（あくまでも目安を例示したもの）
1. 新規性・革新性・優位性	点	5 事業アイデア等の新規性、優位性も大変高い。
		4 事業アイデア等の新規性、優位性も高い。
		3 事業アイデア等の新規性、優位性も普通である。
		2 事業アイデア等の新規性、優位性も普通よりやや劣る。
		1 事業アイデア等の新規性、優位性がなく劣る。
2. 実現可能性・市場性	点	5 近々（2年以内）、事業化が可能であり、市場性も大変大きい。
		4 5年後には事業化できる可能性があり、市場性も大きい。
		3 計画が具体的に煮詰まっているが、起業には今一歩で、市場性も普通である。
		2 計画が具体的に策定できておらず、市場性の見極めが普通より甘い。
		1 単なるアイデアであり、市場性もない。
3. 表現力	点	5 表現力、説得力が十分にあり、起業家としての意識も大変高い。
		4 表現力、説得力があり、起業家としての意識も高い。
		3 表現力、説得力、起業家としての意識は普通である。
		2 表現力、説得力、起業家としての意識は普通よりやや劣る。
		1 表現力、説得力、起業家としての意識は低い。

## 審査員のご紹介



### 1. 召集者 長崎県教育委員会 教育長 前川 謙介

H26 まちづくり推進室長  
H29 政策企画課長  
H30 五島振興局長  
H31 企画振興部政策監  
R 2 文化観光国際部政策監  
R 4 文化観光国際部長  
R 6 長崎県教育委員会教育長（現任）

### 2. 審査委員長 株式会社サイノウ 代表取締役 村上 純志



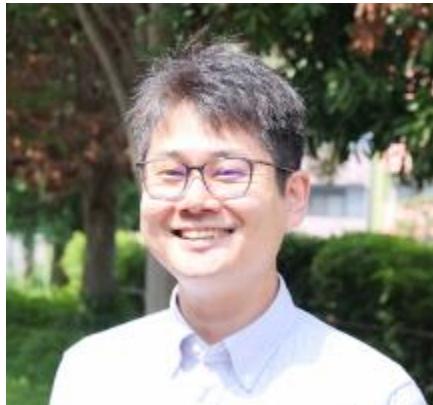
エンジニアカフェ業務遂行責任者 CO-DEJIMA  
責任者 J-StartupKyushu推薦委員 村上 純志  
H28 株式会社サイノウを設立  
H29 「Fukuoka Growth Next(FGN)」を企画、運営  
R元 「Engineer Cafe」を企画、運営  
R 4 「CO-DEJIMA」を企画、運営 FGN内のスタンディングバー  
「awabar fukuoka(Closing)」、  
カフェ「Howlt Coffee(Closing)」、  
エンジニアカフェ内のカフェ「saino」も合わせて経営。



### 3. 審査委員 長崎県立大学地域創造学部実践経済学科 教授 坂元 洋一郎

専門は、経済政策論、環境経済学。  
都市銀行や市役所での実務経験を基に地域創生を考える。  
1991年 九州大学理学部数学科卒、三井住友銀行に入行  
2000年 三菱UFJ信託銀行へ転職、証券化商品の組成  
2008年 古賀市役所へ転職、経営企画課、秘書などを歴任  
古賀市役所在職中に九州大学大学院経済学府に社会人入学  
2018年 日本経済大学へ転職  
2021年 長崎県立大学へ転職  
趣味 柔道（六段）、長崎県立大学柔道部部長  
メッセージ 何時も自分の付加価値を高めて欲しい。

## 審査員のご紹介



### 4. 審査委員

長崎大学 研究開発推進機構

FFGアントレプレナーシップセンター・センター長  
/兼 知的財産室・主任URA 山本 圭一郎

2012年岩手大学連合大学院・連合農学研究科にて博士（農学）の学位を取得。専門は、応用昆虫学・昆虫機能利用学。

同年より西澤国際特許事務所（東京）法務部に勤務。国内大学や国立研究開発法人等の特許出願案件を担当。2021年より長崎大学 研究開発推進機構・知的財産室に主任URAとして着任。2025年よりFFGアントレプレナーシップセンターのセンター長を拝命。知財・法務の知識と実務経験を基に、スタートアップ支援を担当している。

### 5. 審査委員

活水女子大学

講師 花堂 奈緒子



ソニーセミコンダクタ九州（現：ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング）にて半導体デバイス開発に従事後、長崎大学経済学部で社会人学生として学びながら、長崎大学職員や九州工業大学アドミッションオフィス准教授（専門職）などを経て2023年4月より現職。今までやっていないことを想像・妄想してカタチにするプロセスを考えるのが大好きで、九州工業大学時代は探究型入試の導入やコロナ禍でのオンライン入試の実施などを担当。昔の専門は電子工学、現在の専門は経済学。

### 6. 審査委員

ADMIN LLC DAO

代表社員 山口 知宏

20歳の時サラ金から調達した資金でIT会社アドミンを起業。地域に根付き民間・行政の各団体のDXを支援。2020年全国に先駆け、メタバースへの本社移転、完全ペーパーレス・キャッシュレス、RPA・AI等を基とした「サイバー企業」へと事業転換。2023年よりWeb3.0・メタバースに特化したスタートアップ企業として舵を切り、DAOの先駆企業として株式会社からLLC DAOへと組織改編を実施。世界初の事例となる。

<その他役職> オープンイノベーションのプラットフォーム「ルートヴィレッジ」村長

一般社団法人長崎青年会議所第71代理事長（歴代最年少）

一般社団法人長崎県情報産業協会理事（歴代最年少）

長崎市DX推進委員会（長崎市民代表）



## 審査員のご紹介



### 7. 審査委員 株式会社西海クリエイティブカンパニー 代表取締役 宮里 賢史

慶應義塾大学卒業後、三井住友銀行にて法人営業部門および投資銀行部門を経て、2014年に独立。スイーツ店の全国展開・事業譲渡や、地方での民泊運営を行う。2016年より長崎県西海市のシティマネジャー。2017年、西海クリエイティブカンパニーを創業。2019年「LINEで使える個人向けAIサービス「ぱりぐっどくん」はユーザー数390万人。総務省「異能vation」、CES出展、内閣府AI研修講師などを歴任。民間および公共セクターへ、AIおよびコンサルティングサービスを提供中。

### 8. 審査委員 株式会社クラスタス 取締役CTO 神崎 健輔

20代に脱サラして南島原市にあるクリーニング店(有限会社白洋社)へUターンし帰郷。全国から宅配でクリーニングを受付するNexcyを開発(株式会社クラスタス)。南島原市DXコンソーシアムの会長も就任。南島原市内へのDX推進やICT・IoTの導入支援を行いつつ、ITキャンプなどを毎年開催。

アスパラガス選定AIを開発した経験を元にAIでクリーニングのセルフ受付を行うセルフレジシステムも開発。タレント業として「洗濯ハカセ」の芸名でテレビや雑誌、ラジオなど様々なメディアで識者としても活動中



### 9. 審査委員 株式会社十八親和銀行 地域振興部 地方創生グループ 部長代理 浜里 直

2021年度から地域振興部で勤務  
オープンイノベーションによる地域課題解決型の新規事業創出や市産業のスマート化等を支援

